

事業番号	05 03 08	事業改善シート(27年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	医学生修学資金等貸与事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	医療推進課医師確保対策室	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 3 医療従事者の養成・確保			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H18 ~		

1 事業の概要

目指す姿	全国的な医師不足の中で、修学資金等の貸与を受けた医学生等が、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務することにより医師不足の解消を図る。 成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29) 参考 211.4人(H24)										
現状(予算編成時)	依然として県内の医療機関における医師不足が続く中で、中長期的に医師を確保し、県内の医師不足病院等への配置を行い、医師の絶対数の確保と地域偏在の解消を行う必要がある。										
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 県内の医師不足の解消を目的として、医学部定員増を条件として県が実施することとされている。 長野県医学生修学資金貸与規程、長野県臨床研修医研修資金貸与規程、地域医療再生計画					県民との協働による実施：実施は困難				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) 新たに医学生等に貸与を行い、貸与者総数を増やすことにより、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務する医師を確保する。										
	② 事業内容 (単位:千円)										
		項目	実施方法	H27実施内容	H26(当初)	H27(要求)	H27(予算案)				
	1. 医学生修学資金貸付金	直接	将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生に対し、修学資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の1.5倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	292,800	307,200						
2. 臨床研修医研修資金貸付金	直接	産科、小児科、外科を目指す臨床研修医に対して研修資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の2倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	2,400	2,400							
			合計	295,200	309,600	0					
事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況				
	前年度繰越						項目	H26末(見込)	H27		H28目標
	当初予算	254,400	290,400	295,200	309,600	目標			成果	達成状況	
	補正予算		-32,400				医学生修学資金等貸与者総数	117	129		
	合計(A)	254,400	258,000	295,200	309,600	0	義務年限履行者数	37	49		
	一般財源	208,800	220,400	230,400	218,400						
	県債										
	国庫支出金										
	その他	45,600	37,600	64,800	91,200	0					
	決算額(B)	249,600	258,000								
概算職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00							
概算人件費	16,516	16,516	16,516	16,516	0						
概算事業費(B(A)+C)	266,116	274,516	311,716	326,116	0						
指摘事項等への対応	(指摘事項等)				(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善											
要求からの主な変更点											